（様式６）

# 公共事業新規箇所評価調書

評価確定日（平成25 年 09 月 09日）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業コード | H25-建-新-03 | 区　　分 | ● 国庫補助　　○ 県単独 |
| 事　業　名 | 地方道路交付金事業費（改築） | 部局課室名 | 建設部　道路課 |
| 事 業 種 別 | 一次改築（バイパス） | 班　　名 | 調整・企画管理班　　(tel) 018-860-2483 |
| 路 線 名 等 | 一般県道　西目屋二ツ井線 | 担当課長名 | 柴田公博 |
| 箇　所　名 | 能代市荷上場 | 担 当 者 名 | 浅井学 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 総合計画との関連 | 政策コード | 17 | 政　策　名 | 新たな生活圏の創造 |
| | 施策コード | 04 | 施　策　名 | 地域内交通の整備 |
| | 指標コード | 01 | 施策目標（指標）名 | 県道の整備推進 |

## １．事業の概要

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事 業 期 間 | H26　～　H33　（　8 年） | 総事業費 | 38.0 億円 | 国庫補助率 | 0.7 |
| 事 業 規 模 | 延長　L=3,029m　幅員　W=6.0(8.5)m　(1.25-3.0-3.0-1.25)　一部歩道有り | | | | |

**事業の立案に至る背景**

一般県道西目屋二ツ井線は、青森県中津軽郡西目屋村と秋田県能代市二ツ井町を結ぶ県道である。藤里町と能代市を連絡する幹線道路の役割を担う一方、世界遺産白神山地へのアクセス道路としても多くの観光客に利用される重要な路線である。また日本海沿岸東北自動車道「二ツ井今泉道路」が平成２４年に事業化され、高速道路との連携強化により利便性の向上が期待される。

当該区間においては、道路災害による通行止がたびたび発生している。平成２３年には本路線と並列する町道が共に通行止となり藤里町が一時孤立状態となった。藤里町ではおよそ２日に１人が町外へ救急搬送されており（平成２２年）、救急救命率向上のため早期に整備を実施する必要がある。

**事 業 目 的**

○緊急輸送道路としての機能を確保する（第二次緊急輸送道路）
○バイパス整備および現道拡幅による安全で円滑な交通の確保
　・線形改良及び幅員の確保による車両等通行の安全性等の向上
　・通過交通の排除による沿線住民である歩行者、自転車の安全性の向上

**事業費内訳 事業内容**（単位：千円）

| | | 全　体 | H26 年度 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度以降 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事　業　費 | | 3,800,000 | 35,000 | 41,500 | 200,000 | 3,523,500 |
| 経費内訳 | 工 事 費 | 3,180,000 | | | 180,000 | 3,000,000 |
| | 用 補 費 | 120,000 | | 20,000 | | 100,000 |
| | そ の 他 | 500,000 | 35,000 | 21,500 | 20,000 | 423,500 |
| 財源内訳 | 国庫補助 | 2,660,000 | 24,500 | 29,050 | 140,000 | 2,466,450 |
| | 県　債 | 1,026,000 | 9,450 | 11,205 | 54,000 | 951,345 |
| | そ の 他 | | | | | |
| | 一般財源 | 114,000 | 1,050 | 1,245 | 6,000 | 105,705 |
| 事　業　内　容 | | | 測量、各種調査、詳細設計 | 用地測量、用地買収 | 本工事 | 本工事 |

**調 査 経 緯**

○平成２３年度　道路概略設計

**上位計画での位置付け**

○ふるさと秋田元気創造プランの「社会資本整備」を推進する事業

**関連プロジェクト等**

○荷上場工区ほ場整備事業（平成２７～３２年度予定）
○日本海沿岸東北自動車道「二ツ井今泉道路」（平成２４年度～）

**事業を取り巻く情勢の変化**

○藤里町の高齢化率は４１．３％（平成２４年度）であり、ここ数年において増加傾向
○平成２５年６月に県道西目屋二ツ井線早期改良整備期成同盟会が発足

**事業効率把握の手法**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 指　標　名 | 県道改良率 | | |
| 指　標　式 | 各市町村役場から３０分以内到達圏域の人口比率 | | |
| 指 標 の 種 類 | ○ 成果指標　● 業績指標 | 低減指標の有無 | ○ 有　● 無 |
| 目 標 値 a | 97.2 % | データ等の出典 | 道路課調べ |
| 達 成 値 b | 98.6 % | | |
| 達成率 b ／ a | 101.0 % | 把 握 の 時 期 | 平成25 年　4 月 |

事業コード（H25-建-新-03　　）
箇所名　（能代市荷上場　　）

## ２．所管課の１次評価

| 観点 | 評価の内容（特記事項） | 評価点 |
|---|---|---|
| 必要性 | ○車道幅員が５．５ｍと狭く、冬期堆雪幅も確保されていないことから、車両の安全な運行に支障を来している。<br>○死亡事故１件を含む死傷事故が過去１０年で２０件発生している。そのうち１１件が１２月から３月までの冬期に集中している。 | 29 点 |
| 緊急性 | ○平成１８～２３年の６年間で７件の道路災害（土砂崩落、道路冠水など）が発生し、通行止は５回発生している。本路線と並列する町道藤琴二ツ井線が共に通行止となり、約４時間にわたり藤里町が孤立状態となった。<br>○平成２７年から３２年にかけて荷上場地区ほ場整備事業が予定されおり、道路整備と平行して実施する必要がある。 | 9 点 |
| 有効性 | ○第二次緊急輸送道路に指定されており、整備による機能強化が期待される。<br>○藤里町役場から第二次救急医療施設間の所要時間が約１分短縮され、救命救急体制の強化が期待される。 | 15 点 |
| 効率性 | ○事業の費用便益比は１．３８であり効率性は高い。<br>・総費用の現在価値　３３．５億円<br>・総便益の現在価値　４６．１億円<br>○計画交通量は３，５００台／日である。 | 15 点 |
| 熟度 | ○地元および藤里町から道路整備の要望が出されている。<br>○平成２５年６月に県道西目屋二ツ井線早期改良整備期成同盟会が発足している。 | 15 点 |
| 判定 | ランク　（　●Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ）<br>判定ランクⅠであり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。 | 83 点 |
| 総合評価 | ●選定　○改善して選定　○保留<br>評価結果から事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。 | |

## ３．総合政策課長の２次評価

| 総合評価 | ●選定　○改善して選定　○保留 |
|---|---|
| 当該路線は、藤里町への幹線道路であるほか、白神山地へのアクセス道として利用されているが、土砂崩落等により通行止めが発生しているほか、死傷事故が過去10年間で20件発生している。そのため、バイパス整備と現道拡幅は、交通の安全性確保及び円滑な交通の確保等の観点から、必要性及び緊急性は高く、事業実施という１次評価は妥当と判断される。 | |

## ４．財政課長意見

| 意見内容 | ●選定　○改善して選定　○保留 |
|---|---|
| 当該区間は、市町村間を結ぶ幹線道路であるほか、白神山地へのアクセス道路として重要な路線であるが、道路災害による通行止めや、狭小な幅員で死亡事故が発生するなど、緊急輸送道路としての機能・安全性の確保の観点から優先度は高い。また、４ルートを比較検討し安価なルートを選択したほか、不要な歩道の未設置などコスト縮減の観点からも妥当である。 | |

## ５．最終評価（新規箇所選定会議）

| 総合評価 | ●選定　○改善して選定　○保留 |
|---|---|
| 事業の実施は妥当である。 | |

## ６．評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

計画的な実施に努める。

## ７．公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

# 公共事業箇所評価基準

**評価種別**　新規箇所評価　　**事業コード**（H25-建-新-03　　）
**適用基準名**　道路改築事業（地域内・生活圏交通促進）　　**箇所名**　（能代市荷上場　　）

## １．評価内訳

| 観点 | 評価項目　細別 | 評価基準 | 配 点 | 評価点 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 必要性 | 道路の現状の問題 | | | | |
| | 道路構造上の欠陥箇所数 | ３箇所以上 | 25 | | |
| | ・車道幅員＜５．５ｍ | ２箇所 | 20 | 20 | |
| | ・最小半径＜１００ｍ | １箇所 | 15 | | |
| | ・最急勾配＞５％ | ０箇所 | 0 | | |
| | ・冬期堆雪巾なし | ５件該当 | 15 | | |
| | 道路環境上の欠陥該当項目 | ４件該当 | 12 | | |
| | ・現道の混雑度≧１．０ | ３件該当 | 9 | 9 | |
| | ・現道の旅行速度≦30km/h | ２件該当 | 6 | | |
| | ・現道の事故率≧５０件 | １件該当 | 3 | | |
| | ・通学路指定で歩道なし | 該当項目なし | 0 | | |
| | ・重大交通事故が発生 | | | | |
| | 計 | | 40 | 29 | |
| 緊急性 | 道路をとりまく環境等 | | | | |
| | 関連事業の有無 | あり | 4 | 4 | |
| | ・県の主要プロジェクト | | | | |
| | ・地域振興プロジェクト | | | | |
| | ・ほ場整備等の他事業 | なし | 0 | | |
| | 市町村合併支援道路 | 位置づけあり | 3 | | |
| | | 位置づけなし | 0 | 0 | |
| | 交通量 | 増加している | 3 | | |
| | | 増加していない | 0 | 0 | |
| | 特有の課題の有無 | あり | 5 | 5 | |
| | 老朽橋、災害危険箇所、 | なし | 0 | | |
| | 冬期通行不能区間等 | | | | |
| | 計 | | 15 | 9 | |
| 有効性 | 道路の位置づけ | | | | |
| | 生活圏３０分形成道路等 | 該当する | 5 | 5 | |
| | | 該当しない | 0 | | |
| | 救急医療施設へのアクセス道路 | 該当する | 5 | 5 | |
| | | 該当しない | 0 | | |
| | 地域防災計画上重要な道路 | 該当する | 5 | 5 | |
| | | 該当しない | 0 | | |
| | 計 | | 15 | 15 | |
| 効率性 | 事業の投資効果等 | | | | |
| | 費用便益比（Ｂ／Ｃ） | １．０以上 | 8 | 8 | |
| | | ０．５以上１．０未満 | 5 | | |
| | | ０．５未満 | 0 | | |
| | 計画交通量 | 1,000台/日以上 | 7 | 7 | |
| | | 500台/日以上1,000台日/未満 | 5 | | |
| | | 300台/日以上500台日/未満 | 3 | | |
| | | 300台/日未満 | 0 | | |
| | 計 | | 15 | 15 | |
| 熟度 | 地元の状況 | | | | |
| | 地元ニーズ | 文書要望あり | 5 | 5 | |
| | | 口頭要望あり | 3 | | |
| | | 要望なし | 0 | | |
| | 地元の協力体制 | 地元の内諾 | 5 | 5 | |
| | | 用地反対 | 0 | | |
| | 地元への方針説明 | あり | 5 | 5 | |
| | | なし | 0 | | |
| | 計 | | 15 | 15 | |
| **合計** | | | **100** | **83** | |

## ２．判定

| ランク | 判定内容 | 配　　点 | 判定 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | 優先度がかなり高い | ８０点以上 | Ⅰ | |
| Ⅱ | 優先度が高い | ６０点以上～８０点未満 | | |
| Ⅲ | 優先度が低い | ６０点未満 | | |